

水稲用**初期**除草剤

技術資料

1キロ粒剤：農林水産省登録 第23008号

フロアブル：農林水産省登録 第23009号

ホクコー



メテオ®

1キロ粒剤

フロアブル

1成分で雑草対策できる初期除草剤



主要な水田雑草を
しっかり抑えます!



水稲用初期除草剤

ホクコー

メテオ[®]



1キロ粒剤

フロアブル

1キロ粒剤 有効成分:ペントキサゾン 2.5% 農林水産省登録第23008号
 フロアブル 有効成分:ペントキサゾン 5.0% 農林水産省登録第23009号

メテオ剤は、ペントキサゾンをも有効成分とする1成分の新しい初期除草剤です。一発処理剤などの前に処理することによって、雑草がダラダラ発生する場合でも、一発処理剤などの除草効果を安定させます。

特長

1 ノビエ、ホタルイ、コナギ等に高い効果を示します。

2 移植前、移植後のどちらでも使えます。

3 田植同時処理が可能です。



有効成分の物理化学性

種類名		ペントキサゾン
化学名および含有率		3-(4-クロロ-5-シクロペンチルオキシ-2-フルオロフェニル)-5-イソプロピリデン-1,3-オキサゾリジン-2,4-ジオン………2.5%(1キロ粒剤)、5.0%(フロアブル)
構造式		
物理化学的性状	性状	白色結晶性粉末
	融点	104℃
	水溶解度ppm	0.216ppm(25℃)

ペントキサゾンは、水に溶けにくく、土壌との吸着性が大きいため、土壌中での移動性が小さく土壌表層に安定した薬剤処理層を形成し、主として出芽直後の雑草幼芽部および根部に強く作用します。

メテオ剤の殺草スペクトラム

処理時期	ノビエ	コナギ	アゼナ類	キカシグサ	マツバイ	ホタルイ
発生前	○	○	○	○	○	○
発生始	◎	◎	◎	◎	○	○

効果：◎ 著効、○ 有効、△ やや不十分、× 不十分

北興化学工業(株)開発研究所試験、委託試験成績を参照。

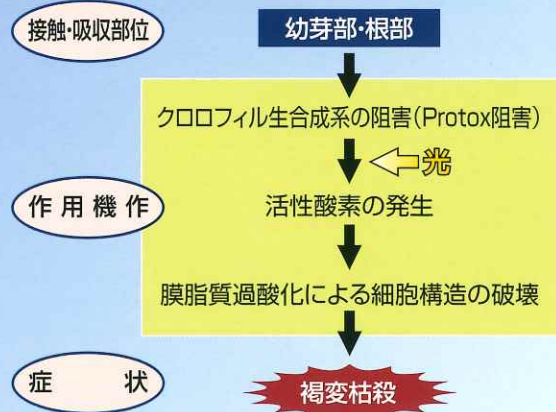
作用機作

ペントキサゾン(Protox)は植物のクロロフィル生成系のプロトポルフィリノーゲンオキシターゼ(Protoporphyrinogen oxidase:Protox)という酵素を阻害します。これにより、生合成系の中間体であるプロトポルフィリンIX(プロトIX)といった物質が細胞中に蓄積します。このプロトIXは明条件下で光増感作用により、植物細胞中に活性酸素を発生させ、これがチラコイド膜等の膜脂質の過酸化を引き起こし、細胞が破壊されて植物体が枯死すると考えられています。



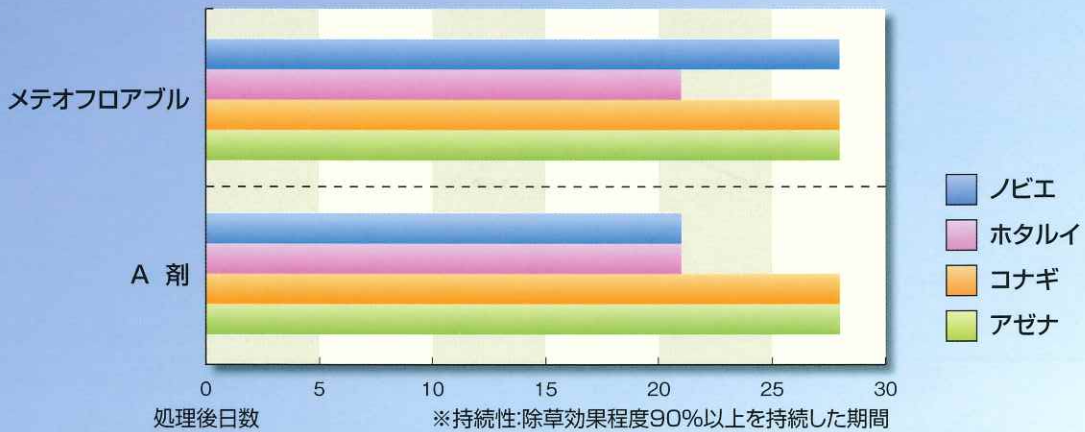
コナギ(メテオフロアブル子葉期処理)

ペントキサゾンの作用機作 光要求性除草剤(Protox阻害剤)



除草効果の持続性[※]

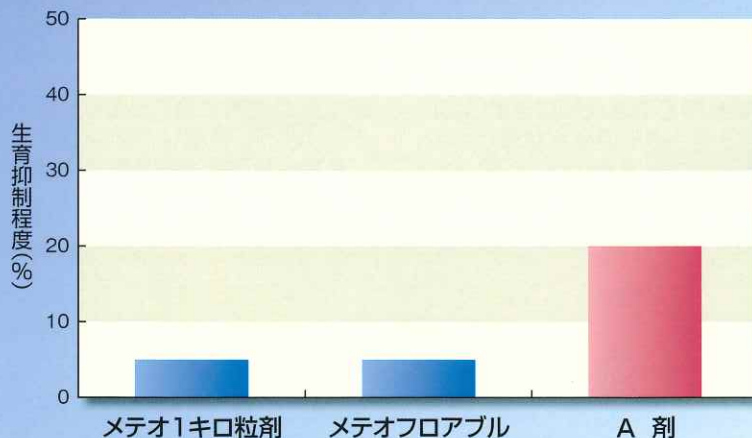
平成21,22年 北興化学工業(株) 開発研究所 温室



メテオ剤は、ノビエ、コナギ、アゼナ類、
イヌホタルイの発生を3~4週間抑えました。

水稲に対する安全性

平成21年 北興化学工業(株) 開発研究所 温室

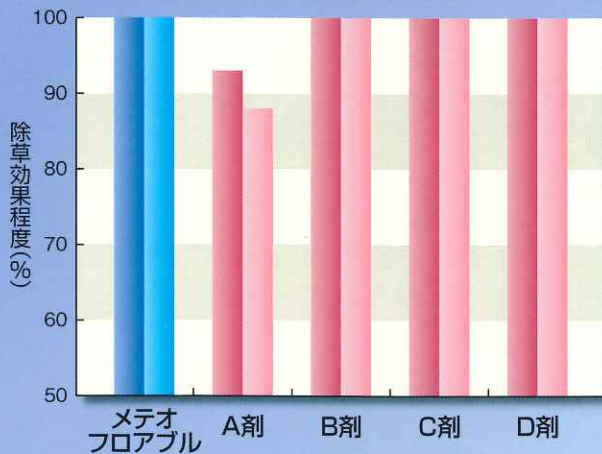


メテオ剤は、水稲に対して高い安全性を示しました。

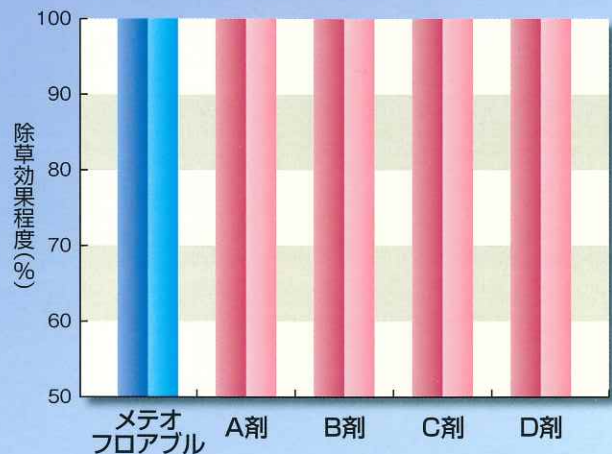
SU抵抗性雑草に対する除草効果

平成23年 北興化学工業(株) 開発研究所 温室

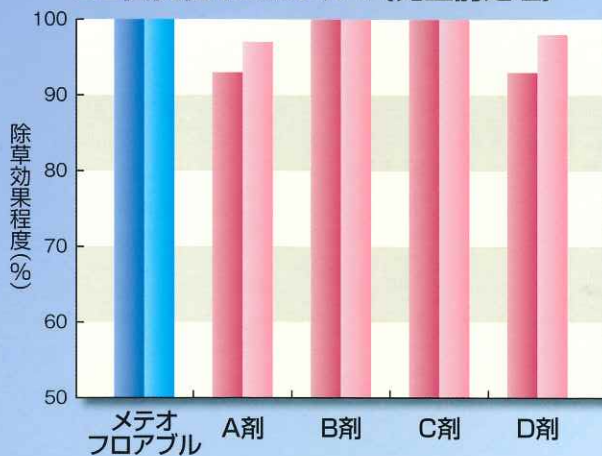
SU抵抗性コナギ(発生前処理)



SU抵抗性アゼナ(発生前処理)



SU抵抗性イヌホタルイ(発生前処理)



■ 常用薬量 ■ 1/2薬量

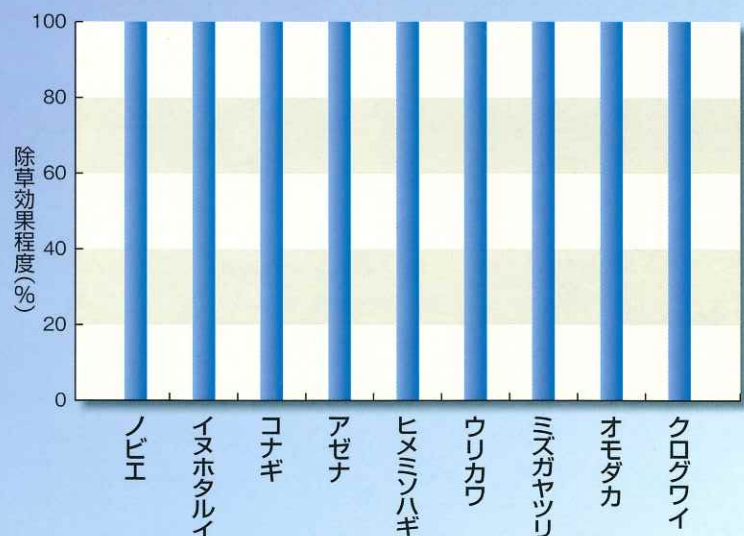
メテオ剤は、発生前の各種SU抵抗性雑草(コナギ、イヌホタルイ、アゼナ)に対して高い除草効果を示しました。

体系処理による除草効果

平成23年 北興化学工業(株) 開発研究所 所外水田



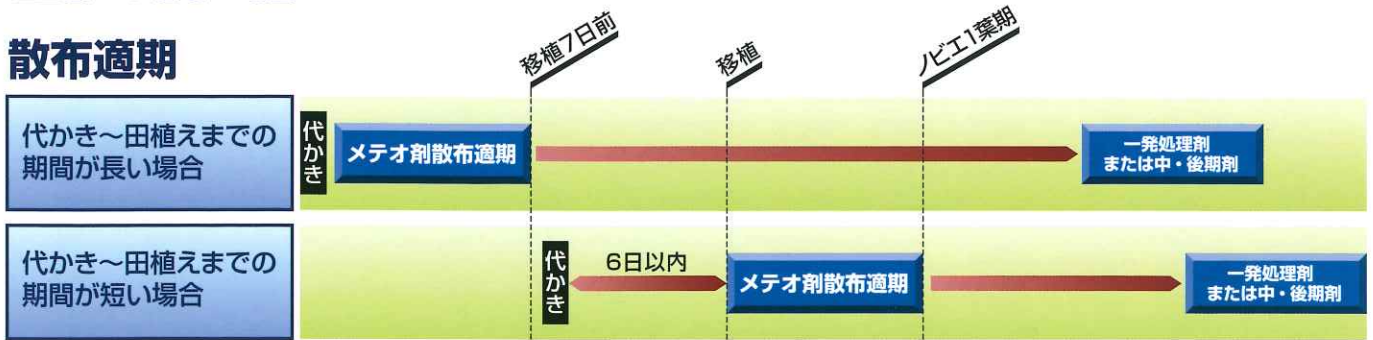
メテオ剤 移植8日前処理 → エーワン剤 移植20日後処理



メテオ剤と一発処理剤(エーワン剤)の体系処理は、各種水田雑草に高い除草効果を示しました。

上手な使い方

散布適期



- 水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm程度)を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないでください。
- 散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。
- 散布後は、雑草の種類や発生状況にあわせて一発処理剤または中・後期剤を散布してください。

安全使用のポイント

●散布の前に

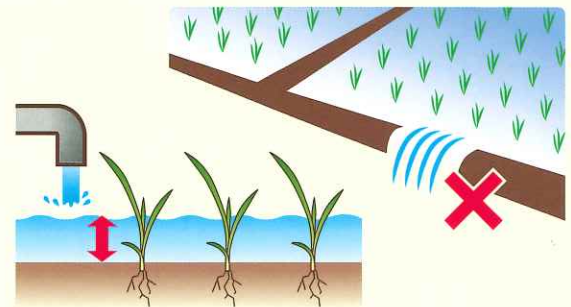
苗の植え付けが均一になるように、整地、代かきは丁寧に、フラクすなどの浮遊物はできるだけ取り除いてください。また、未熟有機物を施用した場合は特に丁寧にしてください。



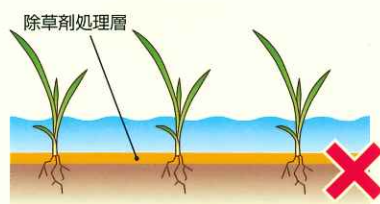
代かきは丁寧に

●散布時

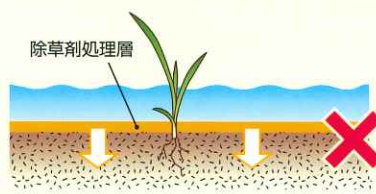
水の出入りを止めて、湛水のまま田面に均一に散布してください。散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。



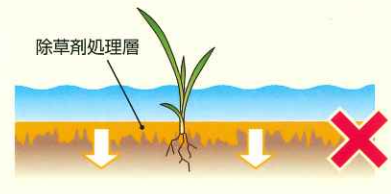
〔水稲に影響が出る条件〕



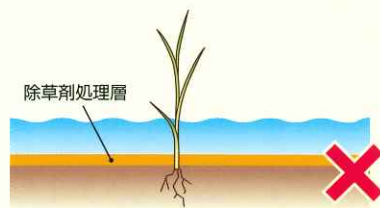
極端な浅植え



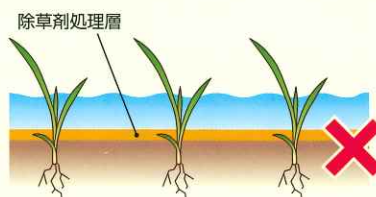
砂質土壌



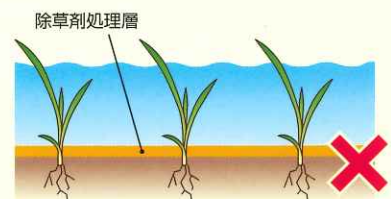
漏水田



軟弱徒長苗を移植した水田



極端な深植え



苗が水没するような深水状態

- 苗が水没するような深水状態では、葉鞘部に軽い褐変症状が出るおそれがあるので、水管理に注意してください。
- 軟弱徒長苗を移植した水田、極端な浅植えや深植えをした水田、砂質土で漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)では、初期生育の抑制が生じるおそれがあるので使用を避けてください。